



遠野の林業の拠点である木工団地の全風景

問 タフ・ビジョンの周知・推進の方法は。

答 タフ・ビジョンについては、関係機関及び農家と共通認識を持ち、連携していくことが非常に大事であると認識している。農家のみならず全市民の理解も必要と思い、広報遠野8月号に「遠野農業の新しいカタチ」と題して特集を組んだ。農家にはビジョンの概要版を配布した。更に、JAの協

力を得てJA秋季営農座談会で説明することとしている。今年から県の農林振興センターも加わってもらい、アストのパワーアップを図った。これに農業委員会も加わり定期的に連絡会議を開催しながら事業を推進している。アドバイザーやコーディネーターについては連絡会を定期的に開催しアストと取り組み情報を共有することとしている。

遠野市農林水産 振興ビジョンについて



荒川 栄悦 議員 (清風会)

問 耕作放棄地の対策は。

答 耕作放棄地を三つに分類し、所有者と連携しながら、一筆毎に状況に応じた対策を講じていく。放棄地解消の方策は、農業委員会との連携強化や、農林水産振興協議会耕作放棄地対策部会による解消推進や、国の事業や市の単独事業創設による解消支援や、農地として復元困難なときは転用を誘導する等の取り組みを行うこととしている。また、集落営農組織及び農地利用集積アドバイザー等の活動や様々な支援制度を利用し、新たな耕作放棄地を発生させないための取り組みにも力を入れていく。

問 農業で生計がたち後継者がいるまちは、

答 現するに、主
に販売額を増やすか、生産や流通コストを下げる方法がある。堆肥センターの堆肥を利用した、市営堆肥利用実証水田の成績は、慣行栽培とほぼ同等の生育が認められ経費や化学肥料の低減に有効であるという結果が得られている。

問 里山が美しく林業が元気なまちは。

答 市の人工林は7〜10年齢が大半で、森林整備が急がれる。今後、路網整備、作業箇所の集約化・団地化、高性能林業機械を活用した効率的な作業システムによる施業計画、いわゆる森林経営計画策定が必要と考え作業に着手した。また、森林組合が森林所有者から同意を得て、森林管理を全面委託してもらうことが重要である。